

## 1. 授業の概要(ねらい)

博物館には多種多様な資料が収集されており、これらの資料は多くの情報を内包している。そのため博物館における情報の管理と発信は近代的な博物館設立当初からの主要な目的であった。これらの情報を展示、研究、教育に活用するための媒体がメディアと呼ばれ、体験展示やジオラマ展示、科学の演示実験などを通じてさまざまなメディアが情報伝達のために利用されてきた。さらにインターネットの普及から20年余りが経過し、情報の種類やメディアの種類も多様化している。この授業では博物館における様々な情報について整理し、情報の提供と活用等に関する基礎的な知識獲得を目的とする。また、チラシやポスターなどを用いた情報発信の技術についても基礎的な技術を実習形式で獲得する。

## 2. 授業の到達目標

- (1) 博物館が有する情報の特徴を理解し、管理と発信に不可欠な判断能力を獲得する。
- (2) 設定された目的を達成するため、情報をデザインする力を獲得する。
- (3) チラシやポスターを作成するためのPCソフトの操作に関する技術を獲得する。

## 3. 成績評価の方法および基準

各回の学習状況を自己評価した小レポート(40%)と制作課題および付随レポート(60%)で評価する。

## 4. 教科書・参考文献

参考文献

大堀 哲, 水嶋 英治 博物館学III 学文社

## 5. 準備学修の内容

日頃から博物館の見学や博物館WEBサイトやSNSを通じて博物館情報やその発信について関心を向けてください。

## 6. その他履修上の注意事項

## 7. 授業内容

- 【第1回】 学芸員課程における本科目の位置づけとメディアの歴史
- 【第2回】 情報・メディアとは何か:メディアとしての博物館
- 【第3回】 情報をデザインする技術
- 【第4回】 博物館における様々なコンテンツの作成
- 【第5回】 総合博物館の見学と写真撮影(実習)
- 【第6回】 デジタルデータの加工技術(実習)
- 【第7回】 課題制作(実習)
- 【第8回】 課題制作(実習)  
※オンライン授業にて実施予定
- 【第9回】 調査研究活動に関する情報
- 【第10回】 教育・展示活動に関する情報
- 【第11回】 ICT社会における博物館の情報発信
- 【第12回】 資料のドキュメンテーションとデジタルアーカイブ
- 【第13回】 博物館で利用する情報機器と情報設備
- 【第14回】 博物館情報の管理:著作権と個人情報
- 【第15回】 授業総括と今後の展望